

日本書道文化協会「研究助成」／2025（令和 7）年度募集要項

（１）研究助成趣旨

日本の伝統的な書道文化、書法の継承や普及、発展、書道教育等に寄与することを目的として、次代を担う若手の研究者、書家の育成や活動の充実を図るために研究助成を実施する。

（２）研究課題

次の課題の範疇に入る研究テーマに限る。

- ①一般社会における書道の普及と愛好者増強のための提言的研究
- ②寺子屋にはじまる日本の伝統的習字教育の歴史に関する研究
- ③書き初めをはじめ、書道にかかわる伝統行事や慣習などの今日的意義に関する研究
- ④日常生活の様々な場面で使われている筆文字の有用性に関する研究
- ⑤書の名品を鑑賞する場としての美術館・博物館等の社会に向けた役割に関する研究
- ⑥優れた書家を発掘し顕彰するための書の公募展の今日的役割に関する研究
- ⑦書に関した文化経済的研究、環境問題・経済社会・SDG s などと書に関連させた提言的研究
- ⑧近年の書文化に対する公的支援、メセナ、自治体における文化行政の発展など、現代における書文化支援の実相や実社会での在り方に関する研究
- ⑨その他、日本の伝統文化としての書道の継承と発展に関する各種観点からの研究

（３）採用件数

３件以内とする。

（４）応募資格

2025年4月1日現在、40歳未満の研究者、書家とする。

（５）助成額と論文作成期間

１件につき 300,000 円とする。研究計画書により審査し、採用の審査発表から論文作成期間は１年間とする。その間の調査研究経費（資料購入、旅費等）はその助成金を使用するものとし、論文提出時に経費の明細を、領収書を添えて報告しなければならない。

（６）応募方法

所定の研究計画書を日本書道文化協会ホームページ(<https://www.nihonshodobunka.jp/>)からダウンロードし、所定用紙に Word で必要事項を記入し、応募受付期間内に事務局に送信する。

（７）申請受付期間

2025年6月1日（日）～7月31日（木）

（８）審査方法

研究計画書を本会が指名した複数の審査員が8月末までに審査し、３件以内を採択する。

（９）選考結果の通知

2025年9月1日（月）に申請者に E メールによって通知する。

（10）助成金の支払い

採択者には同年9月中に、指定の銀行口座へ支払う。

（11）研究論文の提出

採択者は2026（令和8）年8月31日（月）までに、採択された研究計画書に則った研究論文並びに論文概要を本会事務局に提出しなければならない。研究論文は 20,000 字以内、論文概要は 1,000 字程度で、未発表のものに限る。提出は紙媒体と電子媒体の両方で行う。

（12）研究論文の公表

本協会は研究論文集を同年12月中を目途に発行する。

同時に論文概要を本会ホームページに公表する。研究論文並びに論文概要の著作権は論文執筆者が有するものとする。

（13）問い合わせ先及び問い合わせ方法

問い合わせ先： info@nihonshodobunka.jp

問い合わせ方法は、Eメールのみとし、件名は「2025 年度研究助成問い合わせ」とする。

日本書道文化協会 事務局